

# 附属小金井中学校の特色

東京学芸大学小金井キャンパス内に立地する附属中学校



## 教育目標



健康な身体とすぐれた知性と豊かな情操とをもち  
平和で民主的な社会の進展に貢献できる  
自主的で創造性に富む国民を育成する

## 学校生活の基本目標

自主的に行動しよう



## 学校具体目標

自ら考え実践する生徒  
こころとからだを鍛える生徒  
思いやりと奉仕の気持ちを持つ生徒  
創意を働かせ工夫する生徒  
考えや気持ちを的確に表現できる生徒  
他から学び自らを変革できる生徒



## 学校経営計画（令和7年度）

東京学芸大学  
附属小金井中学校  
(1)



生徒及び教職員が、夢と希望を抱き、自信と誇りを持つ

## 年度経営重点目標（令和7年度）①～⑤

### 【重点目標①本校の特色づくりと学校運営の指針】

- ① 本校は小金井地区の他の附属学校園（幼・小）と共に、学部のみならず、特に教職大学院と密接に連携し、高度な教員養成・教員研修を担う。
- ② 大学本体と同一の敷地内にあるという特性を生かし、大学の人的資源及び物的資源、豊かな自然環境を活用した取組を推進する。
- ③ 修学旅行や学芸発表会、スポーツフェスティバル、合唱祭等の本校の伝統的で特徴的な教育活動を、安心・安全面に最大限配慮しながら推進し、活性化させる。  
また、WebやSNSのみならず、対面での学校説明会の機会をより一層活用し、本校の魅力を地域・社会に広く、かつリアリティー豊かに発信する。

### 【重点目標②生徒と教職員の人権保障】

「いじめ防止対策推進法」「いじめの重大事態の調査に関するガイドライン」「いじめ問題への的確な対応に向けた警察との連携等の徹底について」（令和5年文科省初中局長通知）等の国の法令及び本校「いじめ防止基本方針」等に則り、いじめの防止・早期発見・的確な対処を確実に実施する。

### 【重点目標③生徒と教職員の人権保障】

「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」、刑法等の国の法令等及び本校「教育職員等による性暴力等の防止等に関する基本方針」等に則り、教職員等による生徒に対する性暴力等が、重大な違法行為であり、生徒の権利を著しく侵害し、生徒に対し生涯にわたって回復しがたい心理的外傷その他の心身に対する重大な影響を与えるものであるとの認識を徹底する。そして、学校全体で性暴力等の防止・早期発見・的確な対処を確実に実施する。



## 【重点目標④教員の「働き方改革」の推進】

- ① 生徒指導・教育相談に関わり、対応が困難な保護者に対しては、担任・学年のみで抱え込まず、早めに管理職、SSW、各自治体の関係機関等と一体となって組織的に対処する。また、事案の内容に応じ、「東京都カスタマー・ハラスメント防止条例」（令和7年4月1日施行）に準拠した保護者対応を実施する。
- ② 入試に係る一連の業務を対象に、負担軽減を検討する。
- ③ 週休日の部活動指導について、部活動指導員のより一層の活用を図る。

## 【重点目標⑤コミュニティ・スクールの始動】

校長のリーダーシップの下、社会連携学校運営協議会の意見・判断に即し学校運営を進め、校務全般及び教育条件（物的条件・人的条件・教育費）の整備・改善を進める。

## 学校生活（主な年間行事）

※各行事等の解説文は、2年生の「課題研究」で「学校広報」をテーマ選択した生徒による文章から抜粋したものです。



### 入学式（4月）

### 対面式（4月）1年生が2、3年生と「顔合わせ」する式

### 校外学習（4月）

新入生は、自然に囲まれ、中学校生活が始まります。楽しい学校生活を送り、金中の一員として、学校を作り上げていきます。



### 「人と文化」修学旅行（5月・3年）

奈良京都方面3泊4日 仏像・建築・文学について学ぶ

「人と文化」修学旅行では、お寺や神社を回り、日本の歴史について深く学びます。精進料理等、昔ながらの伝統文化を体験します。この経験は、自分の考え方に大きく影響し、日常生活でも、人とは少し違う視点で物事を見られるようになるかもしれません。

### 秩父長瀬修学旅行（5月・2年）

秩父長瀬方面2泊3日 地層や岩石について学ぶ

「秩父長瀬」修学旅行では、化石採集や、織物づくりの現場を見たり、岩畳、荒川等様々な所に足を運び、幅広い分野を学習します。各々が興味のある分野を突き詰め、事前学習や事後学習等、時間をかけ取り組みます。

### 防災学習（6月・1年）

首都直下地震を想定した判断・行動や、避難経路の確認等の座学での学びに加え、応急手当の習得、AEDを使用した人命救助練習、非常食を使用した昼食づくり、地域防災マップの作成により、災害時の知識、判断力、技能を習得します。

### 教育実地研究（9～10月）

東京学芸大学3・4年生の教育実習

教育実習生と3週間の間、過ごすことができます。いつもとは違う授業を味わえる機会です。休み時間にお話しすることで、教育実習生と仲良くなることもできます。

### 生徒会総会（10月）





## スポーツフェスティバル（10月）

選択した競技（アルティメット又はバレーボール）で、授業での学習の成果を発揮し、優勝を目指します。



## 附属小金井小学校・大泉小学校からの連絡進学検査（10月）

## 学芸発表会（10月）

文化部や「総合的な学習の時間」の成果発表、授業で作成した作品やレポート等の展示

教室での作品展示、文化部（部活動）の舞台発表があり、それぞれが輝く場所があります。



## 北総常南修学旅行（11月・1年）

千葉北部・茨城南部を中心に2泊3日で地域の産業・文化等について学ぶ

茨城県波崎のピーマン農家や、鹿島臨海工業地域に行ったり、魚を捌いている姿が見ることができたりします。初めての修学旅行で吸収できるものは盛りだくさん。

## 教育研究協議会（11月）

## 私の主張発表会（12月）2年生が特定のテーマを基に「芸術館」で発表する

伝えたいことを自分の声で表現し、観客に伝えます。大きなホールで発表するこの経験を得て、自分に自信がつくこと間違いなしです。

## 一般入学検査（2月）

## 合唱祭（3月）

クラス毎に選んだ合唱曲を発表し、数ヵ月間の練習の成果を発揮します。

## 卒業証書授与式（3月）

## 東京学芸大学との主な連携活動

- 学部「教育実地研究」の受入れ
  - ・必修、選択の教育実習生（3・4年生）100名以上を、毎年9月期と10月期の2期に分け、受入れ
  - ・ウェブベースの実習日誌の導入、マイクロソフトTeamsの活用等、教育のデジタル・トランスフォーメーション（DX）化の推進
- 教職大学院「教職専門実習」「共同実践研究サブプログラム実習」の受入れ
  - ・書道教育サブプログラムの大学院生による通年の実習 美術科
- 修士課程「臨床心理実習」の受入れ
- 学部の授業科目履修生の参観〔例〕教育実地研究事前指導、心理実習
- 附属図書館等と連携した修士課程大学院生の受入れ
  - ・図書室及び学校図書館司書の活動
- 学校行事や総合的な学習の時間等における大学教員による指導・協力〔例〕秩父長瀬修学旅行、キャリア教育
- 学部及び修士レベル授業科目への担当教員の派遣〔例〕教育実地研究事前指導、入門セミナー、教育支援協同学概論
- 大学教員との共同研究の推進〔例〕家庭科、数学科、保健体育科、理科

## 国・地方自治体・学界等との主な連携活動

\*概ね3年以内

- 教育委員会主催教員研修における講師派遣・指導・助言〔例〕小金井市、岩手県二戸市
- 検定教科書著者・編集協力者〔例〕社会科、数学科、美術科、技術・家庭科
- 青少年スポーツ振興への施設提供等〔例〕中学校体育連盟、FC東京
- 諸外国の教育関係者の視察〔例〕東北師範大学（中国）、モンゴル授業研究協会スタディツアー、チェンマイラチャバット大学（タイ王国）
- 教育研究賞受賞〔例〕文部科学大臣表彰2件、研究賞2件
- 競争的研究資金の獲得〔例〕科学研究費補助金1件

